

愛媛県立新居浜病院ニュース

vol.7 平成20年1月発行

発行元 愛媛県立新居浜病院 編集 地域医療連携室 〒792-0042 新居浜市本郷三丁目1番1号
代表電話 (0897)43-6161 FAX (0897)41-2900 <http://www.eph.pref.ehime.jp/epnh/>

新年明けましておめでとうございます。

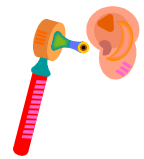
今年も皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



当院スタッフ一同、「地域から信頼され、必要とされる病院」を目指し、日々奮闘しておりますので皆様のあたたかい御理解と御協力をお願いいたします。

診療科紹介

耳鼻咽喉科



医監部長 横井 隆司

Q1: 専門分野は？

A1: 耳鼻咽喉科一般、
顎顔面形成外科(顔面外傷・
唇裂・口蓋裂・小耳症等)

Q2: 出身大学

A2: 愛媛大学(昭和57年卒)

Q3: 医師になった理由は？

A3: 大学受験を周囲にすすめられたのがきっかけ
でした。

Q4: 趣味・特技は？

A4: テニス、合気道

Q5: 患者様に接する際、心がけていることは？

A5: 自分にできる最善のことをする。

Q6: ひと言どうぞ。

A6: いつも楽しく仕事ができる様努めています。

当院の耳鼻咽喉科は、私一人の医師による体制です。外来診療は、午前中全てと、火曜・金曜の午後行っています。手術日は月曜と水曜の午後に行い、全身麻酔の手術は月曜に、局所麻酔の手術は水曜に行っています。一人医師体制なので、同時平行の診療はできず、午前中は一般開業医と同じ診療を、午後からは病院勤務医の手術や入院患者診療をこなし、途中で救急患者に対応するといった時系列に仕事をこなしています。

最近の患者の傾向として、中耳炎・副鼻腔炎も細菌性や急性患者が少なくなり、アレルギー性や慢性の患者が多くなっているように思います。患者の高齢化や少子化が影響している部分もあると思います。

また、最近の手術では、睡眠時無呼吸症候群に対して口蓋扁桃摘出術や口蓋垂・軟口蓋・咽頭形成術を行う症例が増えています。院内の紹介患者では、嚥下障害に対する嚥下機能評価を依頼されることも多くなりました。

また、外来患者の中には、頭頸部癌症例も多くなり、早期発見・早期治療をこころがけています。



～地域医療連携室利用のご案内～

待ち時間の短縮や効率的な治療を推進するため、紹介患者様のFAXによる診療予約を承っておりますので、ぜひご利用ください。FAXの受付時間は平日午前8時30分から16時30分です。受診希望日の前日までに「診療情報提供書(紹介状)」をFAX送信してください。診療予約票を返信いたします。

ご不明な点は、地域医療連携室までお問合せください。

地域医療連携室 TEL:0897-31-8868(直通) FAX:0897-31-7051(専用)



当院での心臓血管外科の始まりは平成4年に愛媛県立新居浜病院に救命救急センターが併設された時に、外科の一員として心臓血管外科医が赴任してきてからです。当初は常勤医2名しかおられませんでしたので、一般外科や呼吸器外科あるいは県立中央病院心臓血管外科の先生の支援をいただきながら診療してきました。平成11年7月にはひとつの診療科として外科より独立し心臓血管外科を標榜できるようになり現在に至っています。

ところで、最初の心臓手術は平成5年2月24日に当時75歳の狭心症患者様の冠動脈バイパス手術でした(術後14年経過した現在もご健在とのことです)。その後地域の皆様にご理解していただけるようになり、徐々に手術症例数も増加し、平成19年12月末までには939例に達しました。当院では開設当初より、主に成人の心臓血管疾患を対象に治療しており、手術症例の主な内訳は、冠動脈バイパス326例、弁膜症118例、胸部大動脈瘤57例、腹部大動脈瘤96例、閉塞性動脈硬化症43例、ペースメーカー治療157例などです。

この約15年間を振り返ってみますと、手術器械の開発や手術手技の進歩(オフポンプ冠動脈バイパス手術など)のためか、最近では開設当初に比べて80歳代の高齢者の心臓血管手術(冠動脈バイパス術は86歳、弁膜症手術は83歳、胸部大動脈瘤手術は86歳、腹部大動脈瘤は88歳が最高齢)が多くなってきているように感じます。現在、手術に際して年齢制限は特に設けず、身の回りのことが一人ででき、認知症の合併がなければ多くの場合手術は可能と考えて、手術治療を考慮することにしております。

狭心症、心臓弁膜症、動脈瘤あるいは閉塞性動脈硬化症などと診断された患者様がおられましたら、一度ご相談いただければ、患者様にとって現在最も良いと考える治療(特に手術治療法や手術成績など)について詳しく説明させていただきます。

医監部長 北條 禎久



Q1: 専門分野は?

A1: 狭心症、弁膜症、大動脈瘤などの成人の心大血管疾患

Q2: 出身

A2: 徳島県の愛媛県境の出身です。新居浜に住んで15年になります。

Q3: 医師になった理由は?

A3: 高校が理数科で大学受験の際に理系の学部を選択した中に医学部がありました。大阪の伯父が内科医でした。

Q4: 趣味・特技は?

A4: 推理小説(著者が医師のもの)
たとえば「チーム・バチスタの栄光」など

Q5: 患者様に接する際、心がけていることは?

A5: なんでも患者様の言うようにしようとは思いませんが、療養に良い影響があるのであれば可能な限り応えようと思っています。

Q6: ひと言どうぞ。

A6: 愛媛県でも産婦人科医、小児科医あるいは麻酔科医の不足はもちろんです、外科医、内科医、整形外科医その他の診療科の医師も十分ではありません。救急医療には豊富な人材がなければ成り立ちません。現在、東予地域でも救急医療の円滑な運営に障害が出てきています。

みんなで救急医療を考えましょう!

医監部長 井村 真里



Q1: 専門分野は?

A1: 心臓血管外科

Q2: 出身大学

A2: 愛媛大学(平成元年卒)

Q3: 医師になった理由は?

A3: 親孝行のため。

Q4: 趣味・特技は?

A4: スキー

Q5: 患者様に接する際、心がけていることは?

A5: できる限り、笑顔で接するようにしております。

Q6: ひと言どうぞ。

A6: よろしく申し上げます。

【涙のNST専門療法士受験奮闘記】

薬剤部 佐津間 義和

初めてこのような形で皆様にお目にかかります。私、当院薬剤部におります佐津間義和と申します。薬剤師ではありますが、NST(栄養サポートチーム)の委員も仰せつかっており、日夜懸命に職務をこなしております。また、院内のイベント時には専属のカメラマンにも早変わりして才能を発揮しております。このような多忙な私に、赤松副院長から“天使(悪魔)のささやき”がありました。「佐津間君、NSTの専門員の資格を取ってくれん？」となげない一言に「はあ」とうなずいたのが苦難の始まりとは。当初、私の才能をもってすれば簡単と思っていたら、何と分厚い受験参考書をパラパラめくったとたん、“何じゃ、これは！”私の得意とする薬のことなどがほとんどなく、当然のことながら栄養のことばかり。それも門外漢の私には“チンプンカンプン”。さらに受験案内を見ましたら何と試験時間が2時間で、85問も出るというではないですか。その上、今回が第1回目でも過去問もないときいています。“えらい事”になったと思いました。でも、やらないと赤松先生の“鬼のような怒り”がと思うと、やるしかないと腹をくりました。大学入試とは大げさですが、仕事の合間を縫ってよく勉強しました。それでも試験当日まで不安ではありましたが。

時は 忘れもしない平成19年11月4日12時、所は 名古屋国際会議場。受験生がいるわいるわ。いざ出陣！！ と、威勢は良かったのですが、問題を見て“どうしてこんな出るん”。難しかったです。2時間、何がどう経ったか、久しぶりに疲れた！！ だめかもしれん。みんなには受けた事、黙っとこ。

その後はなるべくこの事(試験)には触れないことと思っ、極力おとなしくしてたのに、時々赤松先生が思い出したように“あれ通った？”と聞くんです。

もし落ちてたらと思うと夜も寝れませんでした。←仕事で疲れてよく寝ました。

ところが、な、なんとこの私に合格通知が届きました。あれだけ勉強したから当然ですよ。 “ウフッ”嬉しい！！

NSTの委員会でスタッフ一同に祝福してもらいました。本当に試験を受けて良かったと思いました。赤松先生、勝原先生、NSTスタッフ、薬剤部長、薬剤部の皆さん、それから私を応援して下さいました病院の皆さん、合格させて下さった試験官、神様、仏様、もうみんなみんなありがとうございます。

これから試験を受ける皆さん、頑張ってください。私も応援します。

【赤松副院長より一言】

NSTの元締め赤松です。本当に佐津間君、合格おめでとう。多分、少なくとも県病院では薬剤師でNSTの専門員の資格は第一号ではないでしょうか。よく頑張られました。さて次は何を受けますかね。



外来各科診療予定表

(平成20年1月1日現在)

受付時間 午前8時30分から11時まで、午後1時30分から4時まで **診察時間** 午前は9時から、午後は2時から

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	午前	循環器 三根生和明	循環器 森岡紀勝	循環器 藤田鉄平	循環器 西山誠一	循環器 三根生和明
		消化器 山下善正	消化器 芝田直純	消化器 山口朋孝	消化器 山下善正	消化器 山口朋孝
		腎・高血圧 赤松 明	呼吸器 塩出昌弘	循環器 森岡紀勝	呼吸器 塩出昌弘	血液・膠原病 田村達司郎
		総合外来 越野雅夫	総合外来 越野雅夫	総合外来、腎・高血圧 赤松 明	総合外来 越野雅夫	総合外来 越野雅夫
	午後	呼吸器 田口禎一郎	肝炎 山下善正	循環器 藤田鉄平	総合外来 第1・2 赤松 明	循環器 坂上智城
		呼吸器 塩出昌弘	血液・膠原病 田村達司郎	血液・膠原病 田村達司郎	第3・4・5 越野雅夫	消化器 芝田直純
循環器 坂上智城				循環器 三根生和明		
小児科	午前	鈴木由香	第1・3・5 田内久道 第2・4 河上早苗	岡本健太郎	岡本健太郎	第4 石井榮一 第2 檜垣高史 第1・3・5 岡本健太郎
		岡本健太郎	予防接種 (岡本健太郎)		第1・3 楠目和代	第1・3・5 循環器外来 (松田修)
	午後	予約外来 (岡本健太郎)	予約外来 (岡本健太郎)	予約外来 (岡本健太郎)	第1・3 アレルギー外来 (楠目和代)	健康診断 (岡本健太郎)
外科	午前	矢野 守	矢野 守	延原研二 上田重春	喜安佳人	矢野 守
	午後	手術	勝原和博	延原研二 乳腺・甲状腺専門外来	手術	原 真也
脳神経外科	午前	武田哲二 齋藤正裕	手術 (予約外来)	武田哲二 田中英夫	武田哲二 田中英夫	田中英夫 齋藤正裕
	午後	検査	手術 (予約外来)	検査	検査	検査
心臓血管外科	午前	北條禎久	井村真里	手術	北條禎久	井村真里
	午後			手術		
皮膚科	午前	岡崎秀規	岡崎秀規	岡崎秀規	岡崎秀規	岡崎秀規
	午後	岡崎秀規	手術		手術	岡崎秀規
泌尿器科	午前	俊野昭彦	篠森健介	俊野昭彦	俊野昭彦	篠森健介
	午後	手術	検査・処置	検査・処置	手術	
耳鼻咽喉科	午前	横井隆司	横井隆司	横井隆司	横井隆司	横井隆司
	午後	手術	横井隆司	手術		横井隆司
放射線科	午後		篠原 功		山本浩司	

☆ 小児科の予約外来、専門外来(アレルギー外来、循環器外来含む)、予防接種、健康診断は事前予約制です。

代表電話(0897)43-6161

愛媛県立新居浜病院